

第74回北海道高等学校陸上競技選手権大会 新型コロナウイルス感染予防対策について

北海道高体連陸上競技専門部

1. 大会全般の対応

- 1) (公財) 日本陸上競技連盟競技活動再開のガイダンスに準じて対策を行う。
- 2) ガイダンスに基づき、1週間前からの体調チェックを実施。チェックシートの回収。大会期間中はチェックシートの回収はせず、顧問の責任で記入、確認を行う。
- 3) コンディショニングブースの設置を取りやめる。
- 4) 無観客での実施。
- 5) 招集所およびFOPの待機テントを可能な限り増設し、密になることを防ぐ。
- 6) 各校待機テントの設置を競技場外にも認める。
- 7) 競技場内各所および場外トイレへの液体石けん、消毒液の設置。
- 8) アナウンスによる手洗いと消毒の呼びかけ。

2. 競技会中の対応

- 1) 競技者係
 - ・招集所が密にならないようベンチの間隔をあける。
 - ・消毒液を設置し、選手への消毒の呼びかけと選手移動後のベンチ消毒。
 - ・腰ナンバーをシール式にする。
- 2) 出発係
 - ・待機場所で密にならないような配慮と声かけ。
 - ・待機場所に消毒液を設置し、スターティングブロックを使用する種目での手指消毒を呼びかける。
 - ・荷物持ちのコントロール。
 - ・出発後のベンチの消毒。
- 3) 監察員
 - ・ゴール地点の消毒液の設置と使用の呼びかけ。
- 4) 跳躍審判員
 - ・待機場所に消毒液を設置し使用を呼びかける。
 - ・棒高跳用タンマグは各自で準備するか、競技役員が小分けで配布する。
 - ・待機ベンチを使用後に消毒する。
- 5) 投擲審判員
 - ・待機場所に消毒液を設置し投擲前後の使用を呼びかける。
 - ・投擲用タンマグは各自で準備するか、競技役員が小分けで配布する。
 - ・投擲器具の使用後の消毒。
 - ・待機ベンチを使用後に消毒する。
- 6) 記録・情報
 - ・リザルト発表は掲示せず、アナウンスとホームページ掲載で実施する。